

## 「保険で良い歯科医療を」全国連絡会－参議院選挙歯科医療政策アンケート概要

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は、7月の参議院選挙を前に、「参議院選挙に向けた歯科医療政策アンケート」を実施しましたので、概要を紹介いたします。なお、アンケート結果全文は、「会」ホームページ (<http://yoisika.doc-net.or.jp>) で紹介しています。

(※6月26日現在、回答のあった政党は、自民党、民主党、共産党、社民党、みどりの党の6党、公明党、日本維新の会、みんなの党、生活の党は、未回答)

- ◇ 「参院選マニフェストの中に歯科医療政策はあるか」では、「ある」と答えたのは、自民党、民主党、共産党、みどり、社民党は「ない」と回答。
- ◇ 「窓口負担割合を引き下げること」については、「賛成」が共産、社民。反対はなし。その他は、「保険料、公費、自己負担のバランスを考慮して検討」(民主)、「窓口負担と保険料、所得全体のバランスを考えた制度設計が必要」(みどり)などとコメント。
- ◇ 「窓口負担無料化での自治体へのペナルティ」については、「反対」は、共産、社民、みどり。その他の政党は、「保険者間の公平性の確保の観点でも検討も必要」(民主)。
- ◇ 「保険のきく範囲の拡大」については、「賛成」は共産、社民、みどり。その他は、「個々の案件は中医協で審査されるが、安全性、効果が実証された治療については迅速に保険適用すべき」(民主)。
- ◇ 「公費医療保険の縮小」については、民主、共産、社民、みどりが「反対」。自民は「その他」
- ◇ 「歯科診療報酬の引き上げ」については、「医療関係者、保険者、国民の意見をうかがって十分に検討する必要がある」(自民)、「医療崩壊を食い止めるため、引き上げに取り組む」(民主)、「歯科診療報酬の抜本的な増額・改革が必要」(共産)、「良質な歯科医療が提供できるように診療報酬の改善が必要」(社民)、「歯科医療の重要性に見合う診療報酬に引き上げるべき」(みどり)とコメント。
- ◇ 「歯科健診を充実させること」については、民主、共産、社民が「賛成」。自民は「その他」。
- ◇ 「歯科衛生士の雇用」については、「引き続き受験者数の推移を注視していくことが必要」(自民)、「歯科口腔保険法に基づき、歯科領域でもチーム医療を推進し歯科衛生士等の就労環境整備にも取り組む」(民主)、「歯科衛生士などの専門家の技能・労働を正當に評価する報酬体系への改善が必要」(共産)、「歯科衛生士の専門性を高め、国民に納得してもらうこと、診療報酬の改善が必要」(社民)、「労働条件の改善を国も支援しつつ、実現すべき。給与アップ、地位の向上も課題」(みどり)などとコメント。
- ◇ 「歯科技工士の施策」については、「医療関係者、保険者、国民の意見をききながら検討」(自民)、「歯科口腔保険法に基づき、歯科領域でもチーム医療を推進し歯科技工士の活用等のため、診療報酬への反映を含む就労環境整備にも取り組む」(民主)、「補てつ関連の低報酬をはじめ、歯科技工士の技能や労働を正當に評価する報酬への見直し」(共産)、「日本の歯科技工士の人材養成、確保、診療報酬の改善が必要」(社民)、「地位向上、給与アップのための診療報酬の見直しは必要」(みどり)などとコメントした。